## 別紙2

## 平成29年度実施施策に係る政策評価書

(環境省29-26)

						(垛况自29一個)	
施策名	5-5.自然。	5-5.自然とのふれあいの推進 豊かな自然とのふれあいや休養などの国民のニーズに答えるため、持続可能な自然資源の保全を図りつ つ、安全で快適な自然とのふれあいの場の提供やふれあい活動をサポートする人材の育成を行う。					
施策の概要							
達成すべき目標	安全で快適な自然とのふれあいの場を提供しつつ、ふれあい活動をサポートする人材を育成することで エコツーリズムを推進し、自然とのふれあいの質の向上を図る。また、貴重な自然資源である温泉の保護と 適正な利用を図る						
	区分		27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の 状況 (百万 円)	当初予算(a)	8,919	8,203	7,559	7,505	
		補正予算(b)	1,000	10,489	2,000	-	
施策の予算額・執行額等		繰越し等(c)	1,440	10,566	(※記入は任意)		
		合計(a+b+c)	8,479	8,126	(※記入は任意)		
	執行額(百万円)		8,140	7,662	(※記入は任意)		
施策に関係する内閣の重 要政策(施政方針演説等 のうち主なもの) 生物多様性国家戦略2012-2020、未来投資戦略2017、観光ビジョン実現プログラム2017							

		基準値			実績値			目標値 達成	
	自然公園の年間利用者数		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	_	
	の推移(暦年 千人) 	_	873,199	872,336		895,010	集計中	_	_
	ーーーー 年度ごとの目標値		_	_	_	_	-		
	エコツーリズム推進法に基づく全体構想認定数(括	基準値	実績値					目標値	
		20年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	40年度	
	弧内は累計)	0	1(4)	2(6)	1(7)	5(12)	0(12)	(47)	_
	年度ごとの目標値		_	_	_	_	-		
		基準値	実績値					目標値	達成
	国立公園・国民公園年間   利用者数の推移(千人)	_	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	_	
	竹川白奴の産物(十八)	_	367,285	366,335	376,652	374,579	集計中	前年度比1%増	_
	年度ごとの目標値		_	349,325	369,978	380,419	378,325		
		基準	施策の進捗状況(実績)				目標	達成	
測定指標	温泉の自噴湧出量(L/ 分)	昭和45年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	_	
	737	651,265	726,357	733,740	686,427	684,096	集計中	前年度の水準を維持	_
	年度ごとの目標		677,000	726,000	733,000	686,000	684,000		
	国立公園における自然再 生事業推進のための実施 計画数	基準値			実績値			目標値	達成
		1	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	32年度	
		1	11	11	11	11	11	16	_
	年度ごとの目標値		-	-	1	-	1		
	国指定鳥獣保護区におけ る保全事業実施計画数	基準値	実績値				目標値	達成	
		-	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	32年度	
	佐 年ごしの 日 博 店		10	11	11	11	11	12	_
	年度ごとの目標値	基準値	-   -   -   -   -   -   -   -   -   -				目標値		
	国立公園訪日外国人利用	27年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	32年度	Æ/%
	者数	490万人			490万人	564万人	600万人	1000万人	_
	年度ごとの目標値		_	_	_	-	-		

		(各行政機関共通区分)	相当程度進展あり
評価結果	目標達成度合いの 測定結果	(判断根拠)	測定指標のうち、国立公園・国民公園の利用者数は、横ばいながらも、平成25年度から通して見ると全体として微増傾向にある。エコツーリズム推進法に基づく全体構想については平成29年度内の認定には至らなかったものの、3件の申請を受付け、認定数の増加に向けた調整等を行っている。また、訪日外国人国立公園利用者数については、国立公園満喫プロジェクトで先行的、集中的に取り組みを進めるとしている8公園において、平成29年は前年比29%増となっている。 測定指標のうち、温泉の自噴湧出量については、平成29年度は集計中だが、平成28年度はおおむね前年度の水準を維持している。
	施策の分析		
	次期目標等への 反映の方向性		

学識経験を有する者の知	国立公園満喫プロジェクト有識者会議において、国立公園の利用者数や取組内容について報告するととも
見の活用	に、出された意見を施策に反映している。

政策評価を行う過程において使 用した資料その他の情報 自然公園等利用者数調	
--	--

担当部局名	国立公園課 国立公園利用推進室 自然環境整備課	作成責任者名 (※記入は任意)	田中 良典 西村 学 池田 幸士	政策評価実施時期	平成30年 月
-------	-------------------------------	--------------------	------------------------	----------	---------